

令和7年度 第8回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和7年11月25日（火）	開会 19時00分	閉会 20時5分
会 場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委員 16名出席 【意見交換会】藤岡南地区区長会（小川区長、樺根区長、吉田区長、中村区長、後藤区長、永井区長） 藤岡支所 山田支所長、中山副支所長、築瀬主査監、成瀬担当長、中村 山田市議、武田市議、南交流館長		
次 第	「豊田市民の誓い」唱和 ○藤岡南地区区長会との意見交換会 1 藤岡南地域会議会長あいさつ 2 市議あいさつ 3 内容 (1) 藤岡南地区まちづくりビジョン（改訂版）の完成報告について (2) 意見交換 ①まちづくりビジョンがあるということを多くの住民に知つてもらうには ②藤岡南地区の優先すべき取組項目は何か ③区長会と地域会議との連携について		

■議事（要約）

藤岡南地区区長会との意見交換会

藤岡南地域会議は、令和6年度から藤岡南地区のまちづくりの方向性を示す「藤岡南地区まちづくりビジョン（平成25年3月に策定）」の改正を行ってきた。前年度に自治区長から伺った地域の実態や新たな社会情勢を踏まえたり、「第9次豊田市総合計画」の策定に伴い、市との方向性を合わせたりと検討を重ねてきた。自治区長への完成報告とビジョンの周知方法、優先すべき取組などの意見交換を行った。次回定例会にて、周知方法を決定する。優先すべき取組、区長会と地域会議との連携は、次期地域会議へ引き継いでいく。

（1）藤岡南地区まちづくりビジョン（改訂版）の完成報告について

「まちづくりビジョンとは」、「藤岡南地区まちづくりビジョンの概要」、「まちづくりビジョンの活用方法」について委員から報告をした。改訂版は、住民に周知することを意識し、地域住民が作る計画を、具体的な手法・活動を地域で進め、まちづくりビジョンを生かしていくこと説明した。見やすくなった、自治区により課題は異なると意見があった。

【藤岡南地区まちづくりビジョンの構成】

資料1-1：地域住民への周知として、まちづくりビジョンの紹介、まちづくりの方向性を共有するためのPR用資料

資料1-2：まちづくりビジョンの取組方針と取組項目を実現するために、「主な取組」の事例を紹介するためのPR用資料（新規作成）

資料1-3：まちづくりビジョンを実現するために、主な取組の具体的なアクションの事例を示し、地域会議がビジョンを進めていただきたい「実施団体」を提案し、実施団体向けへの説明資料（新規作成）

(2) 意見交換

①まちづくりビジョンがあるということを多くの住民に知つてもらうには

- ・「区長と地域会議の連携」など自治区のグループライン「電子掲示板」で展開
- ・集会所の掲示板で掲示
- ・自治区ホームページに掲載
- ・自治区役員会で地域会議委員から直接、説明があると理解しやすい
- ・ビジョンに関するアンケートを行い、生の声を聴き、生かすとよい

②藤岡南地区の優先すべき取組項目は何か

取組方針1 安全・安心なまち

取組項目・取組の方向性	その理由・意見
(1) 災害に備えるまちづくり ②地域で想定される危険への備え	<ul style="list-style-type: none">・立地条件、建物が建築基準を満たしていることから災害に強い自治区。・住宅地は火災が怖い。消火栓備品の盗難に備え、住民で点検ができるようにしていきたい。
③地域の防災活動の推進	<ul style="list-style-type: none">・指定避難場所の設営から運営を防災部会と自主防災会で役割を構築していきたい。・自主防災会は自治区役員が兼務しているため、再検討したい。
(2) 犯罪に強いまちづくり ②子どもの見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none">・小学生は個別下校の日もあり、知らない人に声をかけられることもあり危険。地域の見守りが必要。
(3) 安全な交通環境づくり ③安全な生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none">・通勤車両が生活道路を取り抜け、事故も発生している。速度規制に取組みたい。・通学路になっている国道は草刈が困難。
④持続可能な移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア活動団体がカーシェアリングを検討。

取組方針2 生涯いきいきと人が輝くまち

取組項目・取組の方向性	その理由・意見
(1) いつまでも住み続けられるまちづくり ③地域福祉・介護のサポート体制の周知・充実	<ul style="list-style-type: none">・交通移動弱者となる免許返納者の支援策が必要。 ※ (3) 安全な交通環境づくり ③持続可能な移動手段の確保と連動
(2) 地域を支える人づくり・場づくり ①自治区運営リーダーの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none">・区長の担い手がない。・高齢化に伴い、年齢規制がある自治区細則を見直したい。

取組方針3 自然や地域資源を生かした魅力あるまち

取組項目・取組の方向性	その理由・意見
(1) 住みよい生活環境づくり ②住みよい環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・外国人住民との交流を深め、ゴミ捨てマナーの理解を図っていきたい。・燃えるゴミの持ち帰り被害あり。
(2) 地域への愛着・誇りの育成 ③伝統文化の継承	<ul style="list-style-type: none">・農村舞台の利用促進は力を入れていきたい。
④観光交流の場を充実	<ul style="list-style-type: none">・県緑化センターの認知度が地域内では低い。盛り上げや活用がされるとよい。

③区長会と地域会議との連携について

- ・都度、区長に相談に伺い、意見を伺っている。
- ・自治区の会合に参加するように努める。
- ・自治区役員でもあるので、報告・決定事項は役員会で報告している。
- ・区長へ定期的には説明できていない。
- ・この機会に、ぜひ地域への展開を地域会議委員から発信してほしい。

【今後の開催予定】 第9回地域会議（12月16日（火）午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール）